

会 議 録

1 会議名

平成30年度 第8回金谷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 地域協議会会長会議について（公開）
- (2) 金谷区の地域課題「観光」について（公開）
- (3) 金谷区の地域課題「雨水排水」について（公開）

3 開催日時

平成30年11月28日（水） 午後6時33分から午後7時58分まで

4 開催場所

金谷町内会館

5 傍聴人の数

6人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委員：高宮宏一（会長）、川住健作（副会長）、村田敏昭（副会長）、
伊崎博幸、伊藤三重子、牛木喜九、桑山敏男、齋藤邦博、高橋敏光、
竹内恵市、永野起男、西条聖士、山口茂幸、吉村清正
- ・事務局：南部まちづくりセンター 佐藤センター長、佐藤係長、小林主任

8 発言の内容

【小林主任】

- ・石野委員、土屋委員を除く14名の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は高宮会長が務めることを報告

【高宮会長】

- ・会議の開会を宣言

- ・ 会議録の確認：永野委員、西条委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【佐藤センター長】

資料により説明。

【高宮会長】

事務局の説明について質疑を求めるがなし。

— 次第3報告（1）地域協議会会長会議について —

【高宮会長】

次第3報告（1）「地域協議会会長会議について」に入る。

11月14日に地域協議会会長会議が開かれ、私が出席したので報告する。

資料No.1により説明。

- ・ 来年度の地域活動支援事業の概要については、予算規模も含めて、30年度と同様に行う予定。詳細は資料2のとおり。
- ・ 地域活動支援事業の目的・効果に照らした見直しについては、自治・地域振興課で、28区の地域協議会から出された意見をまとめ、その上で必要な考え方を整理した。資料1のとおり。これについては、各区一律に、統一したルールにするのではなく、これらの案を採用するか否かの判断は、各区地域協議会の自由裁量に委ねるとのこと。その理由は28区それぞれの地域事情が異なることや、地域協議会それぞれの考えや経緯があるにも関わらず、各区一律に統一することで、制度として自由に活用できるものを制約してしまう恐れがあるということから。これについては、平成31年度のみに対応されるのではなく、平成32年度以降の検討の資料として活用することも可能。来年度の金谷区の地域活動支援事業の審査採択のルール等を検討する際の参考にしてほしい。
- ・ 意見交換は、3グループに分かれて行い、私のグループは、各区の地域活動支援事業の審査・採択の方法をテーマとした。私の感想だが、どこの区も金谷区と同じようにヒアリングやプレゼンテーション等をして良いか悪いか判断して

いる。また、同一事業は最高4回までとし、5回目以降は採択しない区もあり、金谷区とは違うと思った。それから防犯灯LEDのような町内の備品になるようなものが該当するのかなとの意見に対し、その地区ごとの事情があるため制限しないという意見があった。

これについて、質疑を求めるがなし。

一次第4議題（1）金谷区の地域課題「観光」について—

【高宮会長】

次第4議題（1）「金谷区の地域課題『観光』について」に入る。

本日は、協議の中で、傍聴の方にも話を聞く場面もあるかと思うので、よろしくをお願いします。

まず、資料No.2については、前回の会議で新たに出された意見を加えたものとなる。今後の協議の参考にしてほしい。

本日は金谷区の観光の現状を協議したい。「観光」については、今後、自主的審議に取り上げるかどうか協議することを予定している。それを協議するためには、まず観光の現状を知っておく必要があるのではないかと考え、それを知ることにより、観光の課題が見えてくるのではないかと考えたためである。

金谷区の観光の現状を協議することでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

委員に意見を求める。

【川住副会長】

うみがたりが新しくできて、非常に入込数が多いと聞いている。あそこへは、高速道路から車で行くか、新幹線を降りて車やタクシーで行くと思うが、うみがたりを見た後に、金谷区の施設、例えばヨーデル金谷などに若干でも恩恵、変化があるのか。車の台数は増えているのか、最近の新しい情報として、その辺どうか。

【山口委員】

ヨーデル金谷について、今日、リフレ上越山里振興株式会社の取締役会に出席した。結婚式場がなくなり、当初全然売り上げがないのではと心配されたが、昨年度

より利用実績が多くなった。たまたまかもしれないが、そのような話が支配人からあった。来年度は、うみがたりなどいろいろなところに行った帰りに寄れる環境を営業しながら多くしていかないと、この先大変なことになってしまうということだったが、ただ今年是非常に実績がよかったという話。

【永野委員】

友達から聞いた話だが、ヨーデル金谷は、以前はあまり客がいなかったが、最近非常に客が多くなってきたのではないかという話をしていて、話をしていると、「私も行った」という人が結構いる。最近非常に増えている傾向にあるという話を聞いている。うみがたりの帰りかどうかは分からないが、客は増えてきたという話を友達から聞いた。

【齋藤委員】

ヨーデル金谷や湯ったり村のリフレ上越山里振興株式会社には、営業マンがいなかった。営業をしていなかったようだが、皆さんのところに行ったか分からないが、私の家に営業マンが来た。皆さんのところには来たか。

【川住副会長】

来た。

【齋藤委員】

とりあえず町内会長に挨拶ということだったのか。先月だったか、今月か。

【村田副会長】

先月。

【齋藤委員】

結構話が合い、足りないところなどいろいろと話をした。パンフレットも持ってきて、いろいろとよい意見を出してほしいと言って帰っていった。営業、PRをやっていくとのこと。変わってきたな、やる気があるなど、感触的にはよいと感じた。

【山口委員】

来年は、企業関係の忘年会や慰安に関することを中心に攻めるとのこと。

【川住副会長】

高速道路の現状だが、4車線化工事が終了に近づいているらしい。来月中に高田

インターの先の方、昔の新井のあたりまで4車線化になるようだ。来年度中には、全線開通。今日、NEXCO東日本の所長からそのような連絡を受けた。それにより、上越に車で来る客が増えると思う。そして観光事業も盛んになるのではと予想される。

【牛木委員】

このあいだNHKの大河ドラマで、西郷吉次郎の墓と会津墓地が番組の終わりに少し映った。あれを見て客が増えると思う。テレビはみんな見ているから、来年流行（はや）ればよいと思った。

【高橋委員】

会津墓地に関しては、大河ドラマの中で紹介された。会津墓地には、毎年のことだが、会津からバスツアーを組んで32名が来られた。金谷地域歴史を守る会では、金谷のパンフレットを作って紹介したり、看板を立てたりしているので、それからずっと気にかけているが、毎年来られている。今年は高宮会長や村田副会長をはじめ、大勢の方から集まってもらい出迎えた。会津墓地は全国に8か所くらいあるが、一番よく手入れしてもらい、一番丁寧に扱ってもらっているのが、金谷山の墓地とこのことで、去年は会津市長が感謝感激でこちらに来られた。観光面で言えば、どこかにお金を落としていったかどうか。土産はどのくらい買ったか分からないが、高田本町のホテルで32名全員が一晩泊まっている。会津墓地の管理については、隣に墓地がある旧高田藩和親会の方にも協力してもらっている。会津の方には非常に喜んでもらっており、毎年それが続いていて、来る時には必ず連絡が来る。観光面において少しは貢献できているかと。そのため、会津墓地に関してはこのまま続けていかなければいけないと思っている。会津墓地には、毎年2組くらいは来る。パンフレットを作り、会津墓地の看板を新しくして、それだけの効果があったというのは確か。

ヨーデル金谷に関しては、隣の結婚式場は非常に残念な話だった。市長や教育委員会といろいろやり取りしたが、残念な話になった。ヨーデル金谷の売上げが年間で700万から1,000万円近く減ったのは事実だが、それを盛り返そうとして、何とかヨーデル金谷の方は利益が多少出ているが、同じ会社の湯ったり村の方が少

し赤字になっている。なかなか返済金を返していけないのが現状。

それから、10月10日過ぎから11月3日まで、金谷地区公民館の事業で金谷地区のお宝探しというのをした。小学生を募集し、市のバスを借りて、3回に分けて子ども達を連れて回った。私は説明で協力した。1日目は、大貫にある七観音、会津墓地、中ノ俣に行った。2日目は、灰塚の町内会館の隣の虚空蔵菩薩堂、後谷ダム、南葉高原のキャンプ場を案内した。3日目は、滝寺不動・毘沙門堂、正善寺ダム、御殿山高田姫ゆかりの地と、3か所ずつの9か所、小学生の生徒を案内した。将来大きくなっても忘れず、高田に戻ってきてほしいと言った。郷土の歴史的な話について、私も困って返答できないくらい難しいことを聞いてきた生徒が2人いて、立派だと思った。継承というか、後々まで残ってくれるとよいと思った。

【竹内委員】

資料No.2のとおり、これだけの施設があるが、インターネットだけでは誰に連絡してよいか分からないと思うため、どうすれば見に行けるか、あるいは案内人がどこにいるかを加えていかないと、なかなか観光全体には結びつかないと思う。

先般、郡上八幡と高山と白川郷に行ってきた。人がいっぱいいたが、話を聞いてみると中国人が多かった。どんなルートで来るのかと聞いたら、名古屋の中部国際空港から岐阜県を上がり、金沢、京都に寄り、大阪の空港で帰るとのこと。そのため、この路線は客がいっぱいいるという話を聞いた。パンフレットも、しっかり見ないと間違えて英語や中国語のパンフレットを取ってしまうほど、外国からの客を大事にしている。

上越もこんなに資源がいっぱいあるのに、もう少し何か。観光課に電話すれば分かるのか、あるいは金谷区の何かで、これはここに連絡すると分かるなどを紹介しない限り難しいかと。高橋委員も案内してくれるし、正善寺関係では、春日山から滝寺不動などを案内する方がいる。そのような人達を私達で把握しながら、観光に力を入れていかないと。観光資源の一覧を見ると、すごい量があるが、ではどうやって利用するのかとなれば、少し難しい。いつも入り口の論議ばかりだが、中身に少し入っていき、全部市の観光課に連絡ではなかなか難しいと思うため、これはここに連絡すればよいというようなパンフレットを作るなど、何か工夫をしないと伸

びていかないのではないかと感じた。

【高宮会長】

私も自分で見に行かなければいけないと思っている。そうでないと観光客は来ない。以前高田駅前交番に行った時に、観光客の方が列車で降りて、交番でどこに観光のパンフレットがあるのかと聞いていた。交番にはなく、駅前の休憩所には多少あるだろうが、ほしいパンフレットがない。パンフレットをいかに活用するかということの大切さを、話を聞いていて感じた。

【山口委員】

資料No.2の中で、パンフレットを作っているのはほとんど無いと思う。

林道南葉高原線は、中ノ俣から南葉山へ上がる道が通行止めになっている。あそこはいつ通れるのかと聞かれたことがあった。知っている人はいるか。

【牛木委員】

今、大体通れるようになったようだが、どこまでできたかは分からない。入り口のところは仮設の工事が完成し通過できるという話をこの間聞いたが、完全かどうかは、自分で行っていないためはっきりしたことは言えない。

【高宮会長】

今回地滑りが起きた。1か所だけでなく、また地すべりが起きた。私も市に聞いたが、そこは県で管理する部分のようだ。県に関係するため我々は分からない、という話があった。その辺の一体感がない。だが、今聞いた話では、通れるとのこと。

【牛木委員】

完全とは言えないらしいが。

【高宮会長】

そういうことも我々に話してもらい、みんなが分かるようにするというのも大事な要素かもしれない。

【川住副会長】

今月、山形の水族館を見に行ってきた。パンフレットを参考にもらって来た。この水族館はクラゲに特化していて、大きな水族館ではないが大勢の人が来ていた。名前が加茂水族館、鶴岡市にある。クラゲをどのように育てているとか、職員が捕

まえに行っているといった話があり、非常に身近に感じる。また、非常に利益があり、市の方に逆に寄付しているという話を聞いた。光が当たるとクラゲは本当にきれい。クラゲを生まれた時から育てている。上越の水族館の何分の1の費用で建てたそう。平日に行ったが、本当に人がたくさん来ていた。何か特色を持たせて工夫すると、たくさんの人に来るのではないか。うみがたりも、ペンギンやシロイルカなど特色を出して頑張っているところだと思う。子どもを連れて行ってみたいと考えているが、今は混み過ぎている。できれば回数券などを利用したい。水族館に行く人のほとんどは、癒しというか、心を休ませる目的で行く人が多いらしい。まだ行ってないためもらっていないが、あそこにもパンフレットがあるのだろう。加茂水族館のは、小さなパンフレットだが、料金などが細かく全部書いてある。説明員は、ほとんど何も見ないで説明していた。あれだけ研究していると、話を聞いていて引き込まれる。その辺はよい参考になった。

【高宮会長】

1月10日に春日山散策会があり、滝寺集落開発センターに集まった。そこからバスに乗って正善寺まで行き、歩いて春日山へ行った。滝寺集落開発センターにパンフレットの置台があり、正善寺から春日山までのものや滝寺にあるミズバショウなどが載っているパンフレットが置いてあった。これはなかなかよいと感じた。飯の方や正善寺線の担当の方も来ており、36名集まった。興味があるという町の方も来ていた。来て、まずパンフレットを置台から出して見ていたが、私はパンフレットがどこにあるか知らなかったため、それを教えてもらった。そのようなボックスを置くのも一つの案かと。金谷区としては、その辺のPRがなかなか足りないと感じるが、これを置くにもお金がかかる。

傍聴人に意見を求める。

【傍聴人】

今日初めて資料No.2の一覧を見たが、この地区にこれだけの地域団体やレジャー施設があるのを初めて知った。地域にはこれだけの団体があるが、一つ一つ独立して、独自でやっている感じがする。金谷観光協会、はだしの会、ホテルの会というのは、どのような活動をしているのかよく分からないし、説明のチラシやパンフレ

ットを見たことがない。例えば、金谷観光協会がこれらを一括把握して、金谷観光協会の名でパンフレットを発行し、ここに連絡して聞けばこういったことが分かる、といったことを一つまとめて作る、それには地域協議会が中心になって団体を集め、話し合っただけなら、ある程度の活動に広がっていくと感じている。

【村田副会長】

よい意見だと思う。私は金谷観光協会を、金谷山の観光協会ではないかと思っていた。金谷山スキー場の安全祈願祭など、金谷山の上のところだけを取りまとめているような気がしている。傍聴人のおり、金谷観光協会が取りまとめるようになったらよいというのは、進歩的でよいと思う。

私は11月に新潟刑務所に行ってきたが、そこにもパンフレットがあった。そして土産コーナーがあり、凧（たこ）、漆器、箸、茶碗などを売っている。その一角には、今年度の売り上げ目標が書いてある。そのようなところでも目的意識を持って観光をしているのに、金谷の私達はどうか。自分達も勉強しなければいけないと思った。

【高宮会長】

次の議題もあるため、以上で協議を終了したいがよいか。

【竹内委員】

次はまた一から戻るとまずい。資料No.2にある団体に集まってもらい、こんなパンフレットはできないかと言うならよいが、また同じように一から進むではいけないため、何かを。

【高宮会長】

団体の事務局がどこにあるのか分からないため、その辺を調べて正副会長で話し合い、そういう方から集まってもらうなど、次に進められるような議題に持って行ければと考えているが、よいか。

【竹内委員】

前に一歩出るならよい。

【高宮会長】

それについては、次回以降の会議でまた意見をもらいたいと思う。

一次第4議題（2）金谷区の地域課題「雨水排水」について—

【高宮会長】

次第4議題（2）「金谷区の地域課題『雨水排水』について」に入る。

前回の会議では、金谷区南部の雨水排水問題について、各町内会と市担当課から説明を受け、現状について確認した。

次は金谷区の北部、中部の現状について、後日町内会から説明を受けたいと思うが、町内会から説明を受ける前に、北部と中部の現状について説明できる方に説明をお願いしたい。

御殿山町内会はどうか。あそこは改良されているのか。

【高橋委員】

問題はあることはあるが、前回会議で市から返事を聞いて、そこで終わってしまった。それ以上進まない。それを繰り返してやるのか。

【高宮会長】

前回会議は、南部中心。市から説明があり、皆さんも認識したと思う。

【高橋委員】

御殿山の雨水排水の関係では、いわゆる第5号排水という排水路があり、飯から続いている。それを直す工事を下（しも）の方からしており、大貫の地域で2メートル近い土管を埋めるのが終わった。そこへ枝道を繋ぎ、御殿山の排水をそこへ入れてほしいと話をしている。測量して水がそちらに入るかどうかとのことだが、市の方でどうなっているのか分からない。前回会議の青木の排水問題も同じ。地域協議会で話しても何もならないのではないかと。青木も測量に来ると言って、音沙汰がない。やっているのかやっていないのかはっきり分からない。市の方では、多少準備してやっているという話。その話を何度も繰り返しているため、今直接私達が市の方に言っている状態。地域協議会で取り上げて話をしたらどうにかなる問題ではない。そのため、ここで話すのは無駄ではないかと思う。だから、指名されても、何を話せばよいか分からない。

【高宮会長】

今のところ御殿山町内会としては、その場所が一番ということか。

【高橋委員】

うちの町内の排水を繋ぐ仕事が、今年測量すると言ってそれきりになっている。今までしていないということは、今年もしないということ。それを話してもよいが、地域協議会で話をすれば市の方で何とかしてくれるのか、という話。してくれないなら、私は直接するということ。

【高宮会長】

御殿山町内会として申し出ているということであれば。

【高橋委員】

枝道を作ってもらおうよう話をしてある。それが2年も経っているが、全然進まない。そのため、地域協議会で話しても無駄だと思っている。

【高宮会長】

我々委員がそういった問題があるという認識を持つ。

【高橋委員】

皆で認識するのはよいが、前に進まない。

【山口委員】

前回の会議は、私は都合が悪くて欠席したが、議事録を見て、すごく突っ込んだ話をしたのだと思った。しかし、農林水産整備課から、地域の町内会長など知っている人から直に聞かなければいけないと提案があり、11月30日に集まる。地域協議会で話しても、初めてのものは提起されるが、やっと動くという感じで、詳しい内容については、もう1回全部ヒアリングをしなくてはならないと地元に戻答が来た。

【吉村委員】

それは、地域協議会で突っついたからというものもある。

【山口委員】

それはある。

【吉村委員】

では、成果は成果。

【山口委員】

成果は成果。だが決定は地元。

【高宮会長】

竹内委員に昭和町の現状について説明を求める。

【竹内委員】

うちの町内の水は全て昭和町2丁目に流れていくため、うちの方では被害がない。2丁目では側溝を広げたところもあり、被害があったとは聞いていないため、まあまあ流れているのではないか。ただ、あちこちをアスファルトで埋め立てた関係で、大雨が1～2時間降ると、そこら中から雨が集まってくるため、用水、下水がさばききれない状況が生まれる可能性はあるが、普段の状況なら大丈夫かと。また、冬場に消雪パイプを出すと、ぎりぎりまでになる。2丁目の方に流れていくため、下水がいっぱいになると2丁目の方でさばききれない状況になってきているかもしれない。

前回会議のとおり、山麓線もあれだけの幅を埋められると、土が水を吸い取らず、全部下へ下へと流れて来るため、青木町内で困っているような感じもある。今の異常気象に市の対策が少し遅れている関係で、前に少しも進まないということで、意見ばかり出てくるが解決はなかなか難しい状況だということ。今少し動きがあるようなので、もし声を上げられるのであれば上げてほしいと思うが、なかなか一発では。

【高橋委員】

昭和町2丁目は、昨年までであった問題は終わり、新たに別のことを出している。

この前市が来た時に話したが、47.6ミリ、これを変えない限り浸水は絶対に止まらない。私達のところは大々的に雨が降った時は、1時間に91ミリ。新しく道路を作る際は、全部47.6ミリで計算している。側溝などの計算も全部。それで収まるわけがない。あれは20年、30年前の数字をそのまま使っているため、市の考え方を変えないと直らない。それを前回会議で市に言ったら、全国の標準であり変えるつもりはないと。何を言っても仕方ない。そのため、あちこちで浸水がある。

今年は西日本ですごく降った。

【高宮会長】

御殿山、昭和町、南部地区の話が出た。地域協議会として何をしてくれるのかという話もあった。

【高橋委員】

大貫もある。

【村田副会長】

平山と大貫の境界の、低いところ。

【高橋委員】

あそこはよく水が浸く。

【村田副会長】

山麓線の大貫交差点の東側、低くて困っているところがある。大貫用水。

【高宮会長】

高橋委員の言うことも分かる。地域協議会として取り上げても仕方がないという意見。私もそう思うが、ただもう一度思い直してほしいのは、金谷区地域協議会として、「雨水排水」という問題を取り上げた。それについて、私もそうだったが、どの場所がどうなっているか分からないため、その辺の認識を共有しようとしていたかと思う。高橋委員の話では、「雨水排水」については取り上げる必要がないのではないか、という感じがする。そうすると、「金谷区の地域課題」の取り上げ方をもう一度見直す必要があると感じるが、各委員どうか。

【高橋委員】

南部の方は、前川、古川の件などをした。また、青田川は雨が降るとどっと出てくるが、雨が降らないと空っぽになってしまい、稲作や畑の水も困るとの話も。農林水産整備課や河川海岸砂防課も来ていろいろ話を聞いたが、あの返答であれば、どちらかというとは解決しない。これ以上同じ話をして仕方がないと感じた。みんなで取り上げたからどうこうではなく、あの程度の市の返答であれば、地域協議会で取り上げても仕方がない。地域協議会にもものすごい力があり、「では動きましょう」という返事になればよいが、実際は今までの説明をして終わり、前に進まない。

前回会議では、南部について市の説明も聞いたが、北の方は元の中江用水の問題なので、大きい川の話でもないし、雨が降ると水が溜まり道路も冠水するが、天気になるとすぐなくなる。そのため、全国的な水準と言われたらそれで仕方がない。大雨で1時間に60ミリも80ミリも降ったら、水が溜まるのは当たり前。47.6ミリでしか計算しないから。それで私達は道路や側溝の建設をしているという話で終わったのでは、進んでみようがない。そのため、話しても仕方がないという気になってしまう。誰がそのような気持ちにさせたかという、市の返答。北部の話をして、また同じ返事が来る。その数字は変えないというのだから。

【高宮会長】

再三話すが、「金谷区の地域課題」について、皆で決めた項目を一つずつ検討していくというのが当初の話だった。そこには、賛成する、しない人はいたが、取り上げたいという意見が多いものからしていこうということで、2番目に「雨水排水」があった。高橋委員のとおり、地域協議会で協議してもらちが明かないとのことからいけば、これをやめるとなるような感じがする。そうすると、もう一度「金谷区の地域課題」を見直さないと駄目かと。あれも駄目、これも駄目というのが出てくると思う。

【高橋委員】

それをやってみたのだろう。最初からやめたいわけではない。「雨水排水」の返事を市からもらった。これから北部の方を取り上げてても似たような返事になるため、無駄かなと思っているだけの話。

【高宮会長】

他の委員に意見を求める。

【伊藤委員】

今まで知らなかったため、みんなで聞いてみようとなった。聞いて現状は分かったはずであるため、それ以上こちらから動くすべがなければ、それでよいのではないか。

【高宮会長】

どの辺に雨水排水の問題があるかは分かったと。

【伊藤委員】

そう。いろいろなことを聞かせてもらった。

【高宮会長】

「雨水排水」については、地域協議会では協議しないでよいか、それともまだ続けるか、採決を取ってよいか。

【竹内委員】

山口委員のとおり、11月30日に話し合いが続くのであれば、もう少しそちらの進み具合を見て、一緒になって考えてあげる。全部駄目だったら、その部分だけで市長に意見書を出すなりした方がよいのでは。例えば正善寺の大瀬川や正善寺川は、川の中に草がいっぱい生えている。前回会議でも、青田川は中通町の辺りが草だらけで、木まで生えているという話だった。正善寺の川もそうになっているらしい。そういうものを、1年に1回くらい草を刈ってくれたらよいと持っていくなど、解決できる部分だけでも、さらに掘り起こすのではなく。ある程度現状を知ったためよいとの意見もあるが、もう少し。解決に向かい話が盛り上がってきているため、お互いの組織で協力し、対応した方がよい。

【村田副会長】

それでよいと思う。

【高橋委員】

それでよいと思う。青木町内会は進んでいると言っていたが、測量は去年から決まっている。前川や古川については、私は現状をよく知っている。測量をするというのは前から言われていたため、測量をしたのかどうかははっきり分からないと言っただけで、進んでいるならそれでよい。市や県には、地元の声が一番効く。他の人が「何とかしてくれ」と言っても、なかなか難しいと思う。地域協議会が地元の人々の代わりになるのかどうか、はっきり分からないが、地元の声というのが市には一番効き目があると思う。そのため、続けなければいけない部分と、昭和町1丁目、2丁目、御殿山辺りは別。私の方に市で測量に来ると返事が来ているのに、来ない。私の方で文句を言うしかない。地域協議会を通してその話を市にして、変な手を使ってくると思われても困るため、そのままでよいと思う。「雨水排水」の件に関して

は、地域によって取り上げるか取り上げないかという話をすればよいが、全体の話にするとなかなか難しいと思う。大貫の方も、きちんと話を聞かないといけない。平山との境であり、村田副会長も知っていると思うが、その辺のこともまだ解決していない。そこは地元で市とやり取りをしていると思う。

【高宮会長】

竹内委員からは、もう少し継続した方がよいのではという意見。高橋委員からは、同じことを繰り返しても駄目であるため、もうよいのではないかという意見だと思ったが、今話を聞いたらそうではないと。

【高橋委員】

南部の方はやってもらわなければいけないが、北部の方はしなくてもよいと言った。全部の話をしているのではない。

【高宮会長】

南部については、説明会があることが山口委員から聞いて初めて分かった。

【山口委員】

30日は、現地の人ともう少し煮詰める。

【高宮会長】

竹内委員のとおりでよいとの意見があったが、それでよいか。再度説明を求める。

【竹内委員】

範囲を広げて北部も南部もということではなく、今進んでいる南部の方だけ、まず問題解決に向けて。会議があるとのことであるため、その結果を聞き、ある程度要望になったら意見書として市の方へ。その問題だけでも先に出しておけば、地域協議会はこういった活動をしたのだと知られてくると思う。金谷区地域協議会だよりも多少載ることもあるだろう。そうすると、地域協議会がこの問題をここまでしているのだと金谷地区の住民に知れるため、一緒にタイアップしながら、少しでも問題解決に向けて進むことができれば。これで全て終わるのではなく、対応してもらえたらよいと感じている。

【高橋委員】

そうしてほしい。

【高宮会長】

我々のところに説明会の話があると連絡がないのに、入って行けるのか。

【山口委員】

地元の生の声というか、具体的な細かいことを地元で再確認し、その先をどうするか決めるのだろう。会議に出てみないとわからない。

【高宮会長】

南部の方で会議があり、その結果を聞きながら、もう少し詰めていくということか。

【齋藤委員】

竹内委員のとおりでよいと思う。先回、市から来てもらい、色々な話を聞き、私も思ったことを話した。例えば、川の中に木や草が生えて、普段は何でもないのだろうが、集中豪雨のような状態になると、上中田の団地の辺りは皆さん避難騒ぎで緊張するまでなるような状況があると話をした。市の話聞くなど、ある程度のことをしてきたため、今までのことについてある程度話をまとめ、市へ提案というか、意見書で上げるのを検討していてもよいのではないか。この雨水排水問題は、さらに掘り起こして時間をかけてやるのも無駄なような気がする。今までのことを総括してまとめた方が、我々としても今までこういったことをしたのだと再確認できると思う。「雨水排水」については、そのようにした方がよいと思う。

【高宮会長】

11月30日の南部での説明の結果を見て、次にどうするか話し合うことでよいか諮り、委員全員の了承を得る。

— 次 第 5 事 務 連 絡 —

【高宮会長】

次 第 5 「 事 務 連 絡 」 に つ い て 、 事 務 局 に 説 明 を 求 め る 。

【佐藤センター長】

- ・ 第 9 回 地 域 協 議 会

12月19日（水）午後6時～ 福祉交流プラザ 第1会議室

- ・地域活動フォーラム

12月16日（日）午後2時～ リージョンプラザ

- ・金谷区地域活動支援事業に関する意見の提出を依頼
- ・当日配布資料

地域教育往来

【高宮会長】

事務局の説明について、質疑を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課

南部まちづくりセンター

TEL : 025-522-8831 (直通)

E-mail : nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。